



御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2024
(令和6年)
4
月号

不許複製：禁無断転載・引用

Vol.220 仙水グループ広報

仙台水産ホームページ www.sendaisuisan.co.jp

国内シェア8割を誇る宮城の「養殖銀ザケ」 出荷最盛期を迎え旬の野菜と試食提案

宮城県産「養殖銀ザケ」は、今季3月後半に水揚げがスタートし、4月15日からブランド銀ザケ「伊達のぎん」の水揚げも始まり、いよいよ本格的な入荷を迎えました。会場は、生銀ザケ(丸)や生フィレ、スモークサーモン、春キャベツなどが展示され、銀ザケの寿司やカルパッチョ、銀ザケとキャベツの重ね蒸しなど、6品がメニュー提案されました。

仙台水産は4月19日早朝、仙台卸売市場で仙台あおば青果様と共催で、宮城県漁業協同組合・みやぎ銀ざけ振興協議会様に協賛いただき、出荷の最盛期を迎えた「養殖生銀ザケ」を旬の野菜を使って試食提案会を開きました。

▶鮮度抜群！刺身で食べられるサクを多彩なメニュー提案でアピールした



試食には、最高級ブランドの「みやぎサーモン」を使ったにぎり寿司と、新じゃがを使ったサーモンポテト約300食分が来場者に振る舞われました。試食した買受人の方は「臭みがなく脂がのってすこくうまい」と好評を博しました。宮城県漁協の立花洋之常務理事は「脂のりがよくなってきた。生で食べられる銀ザケをぜひ味わってほしい」と話し、今後の水揚げ見通しをメディアに説明したほか、仙台あおば青果様は神奈川県三浦半島産本春キャベツなど旬の春野菜をアピールしました。養魚部の庄司真次長は「海水温上昇で水揚げが例年より遅れてしまっただが、今後巻き返していきたい」と話しました。イベントには在仙メディアも多数取材に訪れ、テレビや新聞で大きく取り上げていただきました。

すずめ踊り練習始まる！ 第40回仙台青葉まつり

5月18日(土)宵まつり・19日(日)本まつりに向け

市場体育館から笛や太鼓のお囃子が聞こえる。仙台の初夏の風物詩「仙台・青葉まつり」は今年、節目の第40回の開催です。連日、踊りの稽古に励む踊り手の練習を取材しました。

4月に入り、すぐにすずめ踊りの練習が始まりました。連日汗だくになりながら練習が続きます。

新入社員にとって練習は相当きついはずですが、厳しい練習を通して仲間との信頼感や連帯感、達成感を味わいます。

仙水グループのすずめ踊りはオリジナルテーマ曲の「さっさ囃子」。現在は旬の魚を紹介する魚食普及のためのテレビCMにも使用されており、スピードと

鮮度感のある良いリズムが特徴です。すずめ踊りは躍動感ある威勢の良い掛け声と、軽やかなステップ

の舞いが特徴で、参加祭連(まづら)の中でもトップクラスの実績を持つ有名ブランドです。

踊りの師匠は、辻真弓先生、お囃子は水野二郎先生に指導をお願いしています。

仙水グループが躍動する季節。すずめ踊りの踊り手、お囃子隊の皆さんに大きなご声援を！



▲連日、稽古に励む踊り手の皆さん 4/18



仙台丸水配送 運輸部

吉村 哲司 さん

雪の季節も終わり道路も走りやすくなりました。でも、気を抜かず引き続き安全運転に努めたいと思います。無理せず、体調管理に努め頑張ります。



仙水フーズ 干物チーム

畑山 麻美 さん

草木も色づき始め、春の陽気を感じさせる季節になりました。私の花粉症もピークに達して鼻炎薬が手放せません。体調に気をつけ過ごします。



鈴力水産 加工部 日配課

佐藤 省吾 さん

草木も色づき始め、春の陽気を感じさせる季節になります。最近 Mother 2 をクリアしました。趣味の作曲では、8コマサウンドを取り入れるなど、試行錯誤しています。



仙台水産 鮪部 冷凍鮪課

須藤 寛頭 さん

時の経過が早く感じる今日この頃。まだまだ学ばべきことが多いと感じています。「一日一生」悔いのないよう、毎日大事に過ごしたいと思います。



仙台丸水配送 運輸部

太田 錠二 さん

今年も桜が咲き春がきました。日差しも暖かく気も緩んでしまいがちです。気を引き締めて無事故無違反、今後も体調を管理し笑顔で頑張ります。



仙水センター 部長兼第2センター長

相原 寿 さん

先日、宮城県沿岸の高水温が水産物にどのような影響を及ぼすのか研修を受けました。仙台湾における真鯛の産卵行動は15℃から。今年は早そう。

宮城県沿岸の高水温の影響とは

仙水グループは4月4日、宮城県水産技術総合センター環境資源チームの伊藤博研究員を講師に仙水グループ研修会を開きました。

冒頭の主催者あいさつで仙水水産の本田誠社長は「グループの102名がWEB視聴で参加している。研修でしっかり学び、お客様に正しい情報を伝えるとともに、変化をチャンスに、前向きに捉えていくようにしたい」と話しました。講師の同環境資源チーム上席主任研究員



▲講義する伊藤上席主任研究員(右奥)

ミネラル足りていますか？ 健康コラムNo.20

水分補給にミネラルウォーターが手放せない、という方も多いのではないのでしょうか。【参照：住友ファーマ 健康常備学】

実は、ミネラルウォーターと呼べるのは「ミネラルが溶け込んだ地下水」だけ。それ以外の水は「ナチュラルウォーター」や「ポトルドウォーター」など、必要な栄養素の区分けができていないため、普段私たちが食物から摂取している炭素・水素・酸素・窒素で全体の約96%を占めるや海藻、アーモンドなど、ミネラルは体内で作ることができないため、スよく摂って、体調を整えておきましょう。



グループ各社が入社式

グループ仲卸の鈴力水産と東海、メーカーの仙台鮪販売も同日入社式を開き、社を挙げて新入社員を歓迎しました。写真はありますが、10数年ぶり新卒採用の東北鈴丸水産(寺島英行社長)は3月26日、市場内でフランクな「ランチ入社式」を行いました。

鈴力水産



▲山口社長(左から2人目)と新入社員(中央)

東海



▲松尾社長(中央)と両側に新入社員

仙台鮪販売



▲千賀社長(左)と新入社員

ようこそ仙水グループへ 仙台水産入社式 “明るく元気に笑顔であいさつ、から

仙台水産の入社式が4月1日、仙台水産大会議室で行われ、次代を担う5人の新入社員が社会人として新たな一歩を踏み出しました。

辞令交付後、本田社長はあいさつで入社を歓迎するとともに「明るく元気に笑顔であいさつ。素直な心で謙虚に一生懸命取り組むことが全ての基本。楽しくてやりがいのある職場を一緒につくろう」と訓示し、石森副社長は「仕事を楽しくするために多くの方々とコミュニケーションを深め、笑顔で地域社会に貢献していこう」と激励しました。

役員紹介、社員代表による歓迎あいさつの後、新入社員を代表して塩田桃子さんが「仙水グループの一員に迎えていただき誇らしく思う。明るく元気に取り組みたい」と決意を述べました。



▲新入社員に訓示する本田社長(右端)

歓迎！桃浦かき生産者合同会社で入社式

桃浦かき生産者合同会社の入社式が4月1日、石巻市桃浦の本社会議室で行われ、今春卒業の高橋斗真さんが社会人として新たな一歩を踏み出しました。冒頭、新田拓哉代表社員が辞令を交付後、あいさつで入社を歓迎するとともに「自然を相手にする仕事の中で、一生懸命に取り組んでも失敗を経験することもたくさんある。しかし、挑戦や努力なくして成果は出ない。先輩社員は挑戦をフォローし協力していく。何事も恐れず、明るく元気に楽しく仕事に励んでほしい」と激励しました。

来賓の宮城県東部地方振興事務所水産漁港部の須藤篤史部長と宮城県水産高等学校海洋総合科長の鈴木秀一主幹教諭、仙台商産の石森克文社長がそれぞれ祝辞を述べました。

新入社員の高橋さんは「迷惑をかけるかと思いますが一生懸命取り組みます」と入社を決意を表明しました。



▲辞令を交付する新田代表社員(右端)

今月の旬のお魚 No.61

銀ザケ



▲宮城が誇る最高級ブランドのみやぎサーモン

銀ザケを含むサーモンは、切身、刺身ともに水産部門のNo.1カテゴリーです。銀ザケの餌は年々改良されており、品質がとて良くなっています。近年では、加工した塩銀ザケや冷凍銀ザケも多く流通するようになり、一年中味わえるようになりました。みやぎサーモンという活めされたブランド銀ザケも流通しており、銀ザケから「サーモン」として注目されています。刺身や寿司など生食でおすすしめましょう。切身では、一口フライやクリームパスタが簡単でおいしいおすすしめメニューです。さらにおいしくなった旬の銀ザケを、仙水グループ一丸となっておすすしめしていきましょう！レシピ詳細は仙台水産営業企画部まで

5月度メディア情報 《番組出演》5/10(金) 17:20 ~ ミヤギテレビ OH! バンデス 「みやぎの銀ザケで旨とろカルボウどん」
《雑誌掲載》4/28(日) 発行 情報誌りらく5月号 「銀ザケの簡単マヨチーカトルソ〜アボガドディップを添えて」
※詳しくは仙台水産営業企画部まで

入社前研修で初顔合わせ

仙水グループへの新入社員、13人の入社前研修が3月22、23日の両日、座学と売場見学、各社訪問など、研修が行われました。早くグループを知ってもらい、新鮮力として活躍してもらうことが目的です。一堂に会しての初顔合わせで、社会人としての責任や自覚、同期の絆が生まれれば幸いです。



▲早朝の売場見学、担当者から説明を受ける

ムッシュのおさかな道場

4月12日(第2金曜日)ミヤギテレビの人気情報番組「OH! バンデス」の「ムッシュのおさかな道場」。今月のおすすめは「ホタテ」。ホタテの旬は、4～7月と11～12月の年2回。ぷりぷりのホタテと春野菜をたっぷり入れた、旨みと栄養がいっぱいの一品です。



▲旬をほおぼる! ゴロっとほたての春ポトフ

りらく / ホタテを食べよう

「りらく」担当の御簾納さん。4月号の「魚知(うおっち)」は「ホタテ」。この時季のホタテはタンパク質が増えて身もふっくら。旨味も濃くなっています。タウリンやビタミン、鉄分などがたっぷり。食卓を華やかにする「ホタテとブロッコリーの彩り塩レモン炒め」です。



▲ホタテ貝 さっぱりうまい 塩レモン

ようこそ! 仙水グループへ

仙 台 水 産

いしい りほ しいた ももこ うつみ こうだい くわしま れん おぐら ゆうと
石井 里帆 塩田 桃子 内海 耕大 桑島 蓮 小倉 唯斗



麺活



旅行



ハンドボール



野球



T V

仙台水産

とみなが よしひろ
富永 佳宏



読書

仙台鮪販売

すがい ゆうや
菅井 裕也



オンラインゲーム

鈴力水産

わたなべ しょうた
渡邊 翔太



散歩

東 海

こまつ ちひろ ふじた せいが
小松 千洋 藤田 星雅



野球



バスケット

桃浦かき生産者 合同会社

たかはし とうま
高橋 斗真



サッカー

東北 鈴丸水産

おぬま たくと かとう はすみ
小沼 拓翔 加藤 羽純



野球



オンラインゲーム

仙水グループ
統一標語

明るく元気に
笑顔であいさつ

《敬称：略》
顔写真の下
趣味

コンプライアンス推進室から No.47

横断歩道での歩行者事故を防ごう!

車を運転する人であれば、「横断歩道は歩行者優先」というルールをご存じですね。道路交通法では「車の運転手は、横断歩道を横断または横断しようとする歩行者等のため、横断歩道の直前で一時停止し、かつ、歩行者の横断を妨げないようにしなければならない」と定められています。(道路交通法第38条第1項)これは自転車に対しても同じです。

歩行者妨害の罰則は赤信号無視と同じ

規定に違反し、歩行者の横断を妨害すると違反点数2点が付加されます。歩行者妨害の反則金(普通車の場合は9000円)と違反点数は赤信号無視と同じです。まず、横断歩道付近で渡るかもしれない歩行者を見かけたら徐行する。横断歩道前で立ち止まっている歩行者を見かけたら、それは赤信号だと思って一時停止するようにしましょう。



※ ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)一人で悩んでいませんか?
窓口⇒CSR本部コンプライアンス推進室 090-3129-8914 に早めの相談を!